

事後評価シート
都市再生整備計画
折尾地区

令和3年3月

福岡県 北九州市


様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	北九州市	地区名	折尾地区		面積	223ha						
交付期間	平成28年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	275.7百万円	国費率	0.41					
1)事業の実施状況	事業名													
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(折尾13号線、堀川町10号線)公園((仮称)光明二丁目公園)高質空間形成施設(金山川)											
		提案事業	地域創造支援事業(歴史的建造物の保全・活用のための調査)事業活用調査(公共空間等の利活用調査、公共施設等整備・デザイン計画の作成、都市再生整備計画事後評価調査)まちづくり活動推進事業(住民主導のまちづくりへの支援)											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(折尾60、61号線)	折尾駅周辺の利便性を早期に向上するため、駅周辺の主要な街路整備を優先的に実施したことで折尾地区3期計画内での実施が困難になったため削除したものの。				計画期間内に事業実施できなかったため、指標への影響あり。指標を下方修正した。						
			公園(西折尾町児童公園)	本事業は、トンネル部の盛土工事の進捗に合わせて施工する必要があり、盛土工事が完成する令和3年度以降の整備となるため削除したものの。				計画期間内に事業実施できなかったため、指標への影響あり。指標を下方修正した。						
		提案事業	地域創造支援事業(旧折尾駅舎保存部材の活用)	本事業は、新折尾駅舎整備の景観対策と一体的に行った方が効果的であると見え、他事業(社会資本整備総合交付金効果促進事業)で整備したため削除したものの。				他事業で実施したため指標等への影響はない。						
			地域創造支援事業(歴史的建造物の模型製作)	民間事業(分譲住宅、生活利便施設)で作成した折尾地区の模型を譲り受けたため削除したものの。				他事業で実施したため指標等への影響はない。						
			まちづくり活動推進事業(折尾地区のまちづくり変遷資料作成)	市単独費で実施することとなったため削除したものの。				他事業で実施したため指標等への影響はない。						
			まちづくり活動推進事業(駅周辺の情報板設置)	市単独費で実施することとなったため削除したものの。				他事業で実施したため指標等への影響はない。						
	新たに追加した事業	基幹事業	なし	-				-						
提案事業		なし	-				-							
交付期間の変更	当初	平成28年度～平成32年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-								
変更	変更	平成28年度～令和2年度												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	JR折尾駅の乗降客数	人/日	32,432	H26	33,500	R2	モニタリング	評価値	30,779	△	あり なし ○	居住人口の一時的な減少に伴い、JR折尾駅の乗降客数についても減少し、目標達成ができなかった。今後、街並みを成熟させることで居住人口が増加し、乗降客数についても増加傾向となる見込みである。	R3年8月
	指標2	居住人口	人	11,214	H26	11,233	R2		10,994	△	あり なし ○	折尾駅北側においては、道路整備や公園整備が進んだことが契機となり、マンション建設等に伴う居住人口の増加がみられた。しかし、折尾駅南側については、土地区画整理事業の進捗に伴い、整備対象地域の居住人口が一時的に減少し、地区全体としては目標達成に至らなかった。今後は、都市再生整備計画区域内における街並みを成熟させることで、居住人口は増加に転じる見込みである。	R3年5月	
	指標3	イベント参加者数	人	4,169	H22～26	4,200	R2		7,951	○	あり なし -	地元のまちづくり団体と連携して、駅周辺や事業用地を活用したイベントを実施したことにより、イベント参加者が増加し、まちの賑わいづくりに貢献した。(令和2年度については、新型コロナウイルスの影響によりイベントを自粛しており、適切な評価ができないため、評価の対象とはせず、平成28年度から令和1年度までの、駅周辺及び事業用地を活用したイベントの参加者数を基に4年間の平均値を算出し評価値とした。)	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	公示地価(3地点平均価格)	円/m ²	66,000	H26				71,016			駅周辺におけるまちづくりの進展に伴い、将来の利便性の向上やまちの魅力向上への期待感が呼び水となったものと考えられる。	R3年3月	
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	平成18年4月、「折尾地区総合整備事業」を契機に、地域住民等(自治会・商業組合等)で構成するまちづくり団体「おり未来21協議会」が設立された。本市では、平成20年6月に協議会が策定した「折尾まちづくりビジョン」を尊重し、地域住民と連携しながら折尾地域のまちづくりを推進しており、持続的なまちづくり体制の構築が進んでいる。また、「折尾地区総合整備事業」に関するPRや、情報誌等による幅広い周知などによる取組みにより、地域住民の事業に対する理解や協力につながっている。													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	堀川沿い利用者アンケート調査の実施 折尾駅南側駅前広場周辺街区の高度利用に向けた勉強会の開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								今後も地域住民・まちづくり団体と連携しながら、必要に応じて実施していく。		
	持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり団体運営支援		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								まちづくり団体の運営等について、まちづくりのパートナーとして引き続き支援していく。		

様式2-2 地区の概要

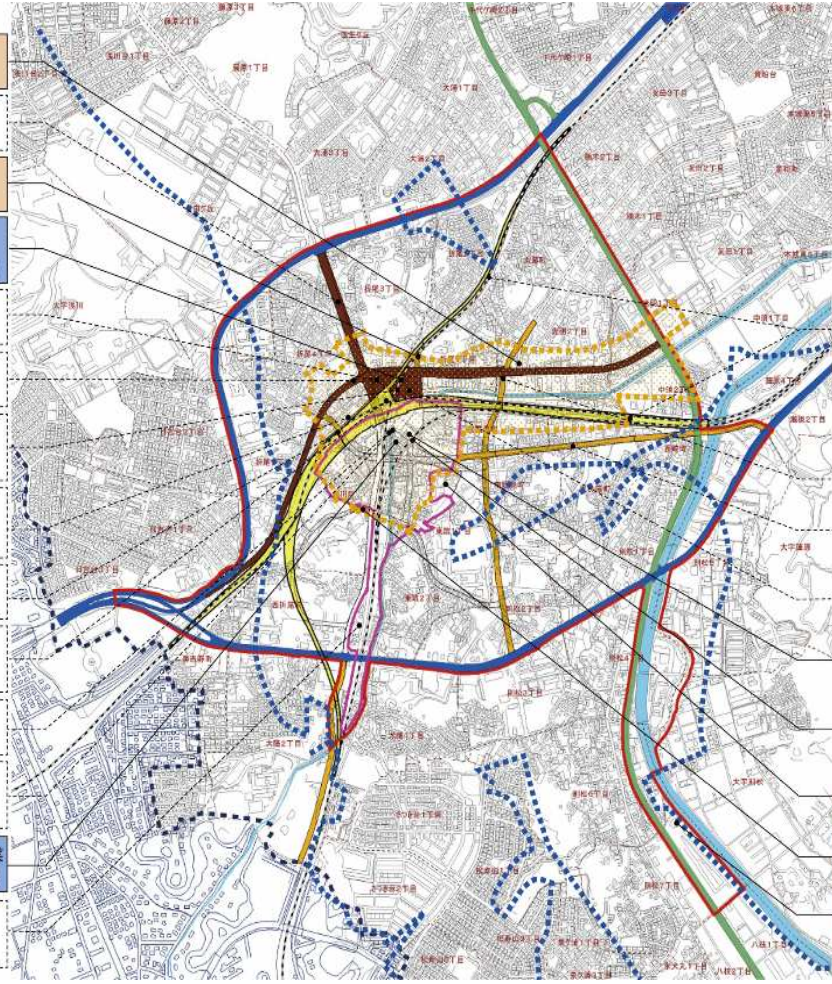
折尾地区 都市再生整備計画(第3期)の成果概要

まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 折尾地区総合整備事業の着実な推進とともに、地区内の居住環境の整備と、住民と協働したまちづくりによる、交通結節機能を活かした生活支援拠点に相応しい魅力あるにぎわい空間の形成を図る。		JR折尾駅の乗降客数	単位: 人/日	32,432	H26	33,500	R2	30,779	R2
目標1: 鉄道によるまちの分断を解消し、新しく生まれ変わる地域の交通結節拠点である駅へのアクセシビリティの向上を図るため、鉄道の連続立体化及び街路・道路等の整備を推進する。		居住人口	単位: 人	11,214	H26	11,233	R2	10,994	R2
目標2: 持続可能でコンパクトなまちの形成及び生活支援拠点にふさわしい魅力ある都市空間の形成を図るため、安全・安心で快適な住環境の形成、民有地等における商業・住宅開発等を促進する。		イベント参加者数	単位: 人	4,169	H22~26	4,200	R2	7,951	H28~R1
目標3: 魅力ある賑わい空間の形成を図るため、工事期間中のにぎわいの継続や新たなまちづくりを、地域住民との協働により推進する。									




光明二丁目公園

- 基幹事業 公園
【(仮称)光明二丁目公園】
- 関連事業 街路事業
折尾青葉台線 H16 ~ R4
- 基幹事業 道路
【折尾13号線】
- 提案事業 事業活用調査
【公共施設等整備
・デザイン計画の作成】
- 関連事業 旧駅舎保存部材
の活用事業 H28 ~ 2
- 関連事業 街路事業
日吉台光明線 H16 ~ R4
- 関連事業
折尾地区のまちづくり
変遷資料作成業務 H28 ~ R2
- 関連事業 街路事業
JR 筑豊本線側道 2号線外
H22 ~ R4
- 関連事業 街路事業
折尾堀川町線 H22 ~ 29
- 関連事業
駅周辺の情報板設置業務
H28 ~ R2
- 関連事業 歴史的建造物の
模型製作 H30
- 関連事業
新駅舎完成に伴う情報発信等
H16 ~ R7
- 提案事業 まちづくり活動推進事業
【住民主導のまちづくりへの支援】
- 関連事業
折尾土地区画整理事業
H18 ~ R7




凡例


- 都市再生整備計画区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域
- 土地区画整理事業区域
- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業



公共空間等の利活用調査
(新々堀川事業用地有効活用)



堀川町10号線



金山川

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ■令和5年度の北側駅前広場及び令和7年度の南側駅前広場の供用開始に向けて、駅周辺の交通ネットワーク、魅力ある都市空間の形成を促進する必要がある。 ■土地区画整理地区内の残された東側地区及び鉄道跡地地区について、老朽住宅除却とともに、基盤整備を行い、安全・安心で快適な住環境の形成を図ることが必要である。 ■持続可能でコンパクトなまちづくりが求められる中、地域拠点として高次な都市機能の集積などによって街の魅力を高めることが必要である。 ■事業の進捗によって、新しいまちが目に見えるようになってきたことにより、地域住民のまちづくりに対する期待や意識が高まっており、継続して地域住民との協働によるまちづくりを進める必要がある。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ■鉄道による地域分断の解消、交通の円滑化及び交通結節機能の強化のため、引き続き鉄道の連続立体化、及び駅前広場を含む駅周辺の整備を行う。 ■周辺地区から折尾駅へのアクセシビリティを高めるため、引き続き道路の新設、拡幅を行う。 ■駅南側の密集市街地を解消するため、土地区画整理区域内の老朽住宅の除却とともに基盤整備を行い、安全安心で快適な住環境の形成を図る。 ■持続可能でコンパクトなまちの形成及び地域拠点にふさわしい魅力ある都市空間の形成を図るため、民有地等における商業・住宅開発を促進する。 ■魅力ある賑わい空間の形成を図るため、工事期間中の賑わいの継続や新たなまちづくりを、地域住民との協働により推進する。